

平成28年3月3日

大山町議会議長 野口 俊明 様

10番 大山町議会議員 近藤 大介 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. 総合計画について	町長
1) 基本理念「楽しさ自給率の高いまち」とは、どういうことか。簡潔に説明されたい。また、これを実現するために必要なことは何か。	
2) 「楽しさ自給率」という耳慣れない言葉を、どのように町民に浸透させ理解してもらおう考えか。	
3) 基本構想を実現していくためのPDCAサイクル(特に年次ごとの評価)をどのように行うか。また、その評価システムでの住民の関わりは。	
4) 共感、確認、参加、共有・拡散といったSIPSサイクルを生み出すために必要なものは何か。また、そのために行政が果たすべき役割をどう考えているか。	
2. まちづくりの人材育成について	町長
各地区の自主組織や未来会議に関わった町民、また地域おこし協力隊メンバーらによる地域づくりの活動が活発になってきている。	
しかし、それらの活動は、まだまだ一部の町民の活動に留まっており、多くの町民の理解や共感、参画が得られているとは言えないと思う。	
これから10年、「楽しさ自給率の高いまち」を目指すうえで、町民の参画および参画意識の向上は欠かせない。そのためにも、まちづくりの人材育成、リーダー育成は特に重要と考える。	
1) まちづくりの人材育成、リーダー育成について現在、どのような事業を行っているか。もっと積極的に行うべきと考えるがどうか。	
2) いま、地域づくりの中心で活躍している人の中には、若いころに、県や町の支援を得て海外研修を行った経験がある人が多い。国内外を問わず、一定の目的を持った研修旅行事業への助成制度を作ってはどうか。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

